

若浜の子ども



平成31年4月20日 第1号

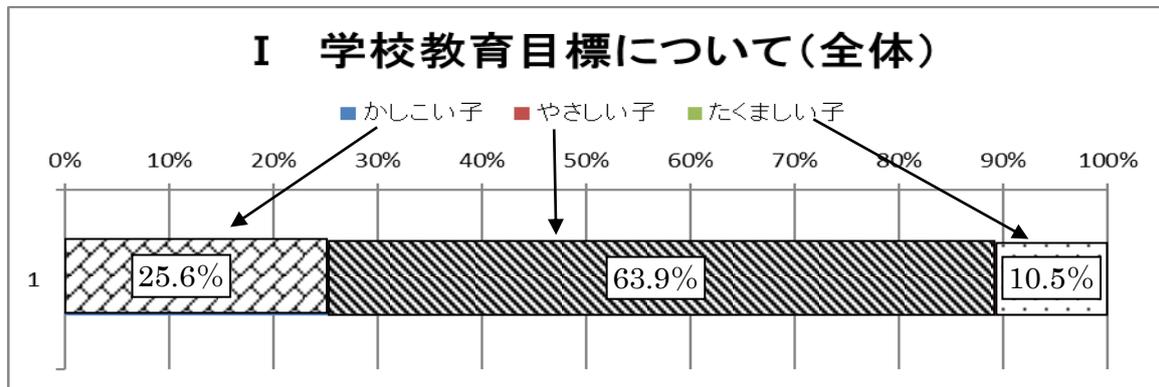
<平成31年度・令和元年度PTA総会資料>

平成31年度・令和元年度 酒田市立若浜小学校の教育について

1 昨年度の学校評価から

I 学校教育目標「自ら学び考え行動する若浜の子ども」について

次年度、より積極的に取り組んでほしい内容について、一つだけ○を付けてください。



昨年度実施した学校アンケートの結果から、心の教育に力を入れてほしいと思っているご家庭が多いのだということを確認しました。これは29年度もほぼ同様の結果でした。

若浜小学校は、いのちの教育を推進する学校であり、JRC（青少年赤十字）の加盟校です。1年生から6年生までの発達段階に応じて、子どもに思いやりや正義について考えさせ、行動に結びつけていくことを最優先の課題とします。

そのためには、ご家庭の協力が欠かせません。国語や算数、英語、スポーツは「習う」ことによって「できる」ようになります。しかし、**思いやりや正義心**は「習う」ことによって「できる」ようにはなりません。実際の生活の中で体験していく中で、立ち止まって考えたり、やり直しをしたりしながら、時間をかけて身につけていく物ではないでしょうか。

若浜小学校では、学校とご家庭が協力して子どもを育てる、「**共育(ともいく)**」をモットーとしています。今年度もよろしくお願いいたします。

2 学校教育目標

自ら学び、考え、行動する若浜の子ども

－ すべての教育活動の基底に「いのちの教育」を －

3 めざす子ども像

- 自ら学び、よく考えるかしこい子（知）
- 思いやりと正義心があるやさしい子（情・意）
- よく遊び、体をきたえるたくましい子（体）

人間の成長を幼少期から成人まで追跡調査した結果で**自尊感情、自己肯定感、自制心**が強い子は、逆境に強く、経済的、社会的に成功する人が多いという結果が出ています。

昨年度、子ども達にはエジソンや水泳のマイケル・フェルプス選手の子どもの時代とその後を紹介しました。彼らは、小学校時代にあまり先生から誉められなかった子ども達でしたが、家族は我が子の良さを認めていました。また、自分の目標に向かって脇目も振らず努力した方達です。とってつけたような褒め方ではなく、子どもが実行したことで良いことは大いに誉めて自信をつけて伸ばしたいものです。

4 若浜JRC（青少年赤十字）について

若浜小学校は、庄内では数少ないJRC加盟校です。「気づき、考え、行動する。」がJRCの行動理念（合言葉）です。ちょっとしたことへの気づきから、善い行いをすることをすることを奨励しています。1年教室から体育館へ行く途中にJRCの掲示板があります。今掲示しているのは昨年度見られた心優しい行為と登校中の挨拶の写真です。

子どもの力でよりよい若浜小学校にするためには、欠く
べからざる取り組みです。

ご家庭でも、お子さんがちょっといいことをしたときには「それってJRCだね！」と声をかけていただければ、子ども達のJRCに対する意欲も高まると思いますのでよろしく願いいたします。



5 お家の方へのお願い

若浜小学校では、いじめアンケートを6月と11月の年2回行っていますが、「これっていじめじゃないの？」と思われたときは、アンケートまで待たずに担任にご相談ください。時間がたってからだと事実の確認が難しくなり、解決の機会を逸してしまう場合があります。

友達のこと、先生のこと、勉強のこと、様々な困ったことについて、お子さんが相談することと思います。ただ、子どもの記憶違いだったり、勘違いだったりする場合もあることを気に留めておいてください。

通知表の「ご家庭から」の欄や連絡ノート、電話などで担任とやりとりするときに、ちょっとした一言（あったか言葉）で、担任の意欲がぐっと高まります。教師という仕事で給料をいただいているのですから、どんなときも沈着冷静全力投球が当然かもしれませんが、教師はティーチング・マシンではありません。お家の方との良好なコミュニケーションと子どもの笑顔が、エネルギー源です。共育のパートナーとしていい関係をお願いいたします。